

平成27年8月19日

【予告】農学部の改組計画（平成28年4月）の予定について

標記のことについて，別添のとおりお知らせします。

鹿児島大学

農学部改組計画について

鹿児島大学農学部では、現在の「生物生産学科」・「生物資源化学科」・「生物環境学科」を、平成28年4月に下記のとおり「農業生産科学科」・「食料生命科学科」・「農林環境科学科」に改組する予定です。

現在（平成27年8月）、農学部では、この改組計画を文部科学省大学設置・学校法人審議会に提出しています。この計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するものです。

現在のところ確定したものではなく変更があり得ますが、この計画に伴う平成28年度入学者選抜は下記のとおり実施する予定です。

なお、出願にあたっては、平成27年11月に鹿児島大学一般入試学生募集要項を、同年10月に鹿児島大学推薦入試Ⅰ学生募集要項を、同年11月に鹿児島大学私費外国人学部留学生入試学生募集要項をそれぞれ発表する予定ですので、「農業生産科学科」、「食料生命科学科」、「農林環境科学科」を志望する者は必ず請求の上、出願してください。

1. 改組計画

改組前（平成27年度）			改組後（平成28年度）	
農学部	（入学定員）		農学部	（入学定員）
生物生産学科	74人	→	農業生産科学科	<u>71人</u>
生物資源化学科	58人		食料生命科学科	<u>66人</u>
生物環境学科	61人		農林環境科学科	<u>56人</u>
国際食料資源学特別コース （農学系サブコース）	12人		国際食料資源学特別コース （農学系サブコース）	12人
計	205人		計	205人

2. 「農業生産科学科」・「食料生命科学科」・「農林環境科学科」への改組（予定）

（1）改組の目的

農学部では、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等、食住農関連分野の技術者・指導者として社会に貢献できる人材の養成を目的とします。このため、「農業生産科学科」・「食料生命科学科」・「農林環境科学科」の3学科に改組し、南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かしたフィールド等での実践的な教育を通して、農畜産物の生産・安定供給、食の安全・利用加工、食品の機能と健康、地域資源の利活用と地域環境の管理保全・災害対策分野に関する知識と技術を修得するための教育研究を行います。

（2）教育課程の概要

【農業生産科学科】

農業生産科学科では、日本の主要な農業生産地帯である南九州を教育の場とし、農作物や家畜の生産・管理、農畜産物の利用と流通の発展に貢献できる人材の養成を目標とします。その目的を達成するため、生物学、化学、経営・経済学の知識を農業生産のフィールドでの実践に活かすとともに、農作物および家畜の生産や流通に関する専門的な知識・技術を修得すること、さらにそれらの技術開発に携わることができる人材を養成するための体系的なカリキュラムを編成します。

専門教育では、次の3つの教育コースを設け、2年次から各コースに分属して、高い

専門性と実践力を身につけます。

「応用植物科学コース」

東アジアに位置する南国の温暖な気候を活かした農・園芸作物生産の基礎知識・技術・理論の習得を通して、実践的で応用力を備えた人材を養成するために、多様な栽培方法や病虫害防除法、また、植物の遺伝的改良について深く学び、専門的知見を向上させます。さらに、地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題を解決するために、指導的役割を果たし得る広い視野と国際性を持った人材を養成します。

「畜産科学コース」

日本有数の畜産地帯である南九州において、家畜の改良、繁殖、行動・飼養管理、生体機構、栄養生理、畜産物利用等に関する教育を行い、効率的で持続可能な家畜の生産から安全・安心で付加価値の高い畜産物の開発に関する知識と技術を備えつつ、畜産学の進歩、地域農業の振興、国産畜産物の競争力強化に貢献できる人材を養成します。

「食料農業経済学コース」

グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について、社会科学的な手法による実践的な教育を行い、食料・農業問題、地域振興およびアグリビジネスに関する高度な知識を備えた地域リーダー、政策立案者、アグリビジネス従事者となる人材を養成します。

【食料生命科学科】

食料生命科学科では、食品の安全確保と食品の機能を活用することにより健全で豊かな食生活を実現し、食品関連産業の振興を通じて地域を発展させていくことに貢献する人材の養成を目指します。この目的を達成するために、理科の学力を基礎にして、食料の生産や食品の製造、その栄養や機能性の評価、食品の安全性確保に関する基礎から応用までの知識と実践的な各種技術を身につけるための体系的なカリキュラムを編成します。

専門教育では、次の3つの教育コースを設け、3年次から各コースに分属して、高い専門性と実践力を身につけます。

「食品機能科学コース」

「食・健康・豊かさ」の視点から、生命現象の理解、生物機能の利用、食品の栄養生理・機能の解明、機能性食品の開発に関わる基礎と応用の教育を行い、多様化するバイオサイエンスやフードサイエンスの新時代に適応できる人材を養成します。

「食環境制御科学コース」

人間にとって有用かつ健全な農産物の生産から消費に至る供給プロセスにおける食の安全確保を目指して、生産環境、栽培過程、保蔵・加工・流通、および品質・安全に関する科学的な知識と技術を有し、食料生産、食品加工・製造、食品衛生管理、農業資材開発などの分野で活躍できる人材を養成します。

「焼酎発酵・微生物科学コース」

焼酎などの伝統的発酵食品およびさまざまな微生物に関連した基礎から応用にわたる広範囲な知識と技術の習得により、発酵食品をはじめとする微生物の利活用分野における技術を継承し、かつ新技術開発のリーダーとなる人材を養成します。

【農林環境科学科】

農林環境科学科では、地域農林資源の利活用を通じた農山村の振興および森林や農地の保護・保全を通じた生活環境の維持・創出のために必要な能力を持った人材、特に専門的な知識と技能を持った技術者の養成を目標とします。そのため、基礎となる自然科

学および社会科学の知識と技能を身に付けるための教育と共に、現場で多様な問題に対応するためのフィールド教育、実践教育を行うための体系的なカリキュラムを編成します。

専門教育では、次の2つの教育コースを設け、2年次から各コースに分属して、高い専門性と実践力を身につけます。

「森林科学コース」

暖帯林から亜熱帯林の森林生態系に関する理解を深め、国内有数の木材供給基地である南九州の森林資源の循環的利用と森林や山地を中心とする国土保全のための計画・管理に関する知識と能力を持った人材を養成します。

「地域環境システム学コース」

地域資源の活用や管理、地域環境の整備や修復および地域防災に関する情報の発信等に関する基礎的な知識と論理を修得し、農業生産や豊かな地域環境創出に関わる技術を持った人材を養成します。

3. 入学者選抜

(1) 入学定員と募集人員（予定）

学科等	入学定員	募集人員			
		一般入試		特別入試	
		前期日程	後期日程	推薦入試 I	私費外国人学部留学生入試
農業生産科学科	71	57	6	8	若干人
食料生命科学科	66	57	6	3	
農林環境科学科	56	46	6	4	
国際食料資源学特別コース (農学系サブコース)	12	12			
計	205	172	18	15	

[注] 国際食料資源学特別コース(農学系サブコース)を志望する場合は、農業生産科学科、食料生命科学科、農林環境科学科のうち一つを第2志望として出願することができます。

(2) 一般入試・推薦入試 I・私費外国人学部留学生入試の実施教科・科目等（予定）

従来、生物生産学科、生物資源化学科、生物環境学科が課していた教科・科目等を課します。

4. 既に印刷されている「平成 28 年度 入学者選抜要項」のページの修正

- ① 4頁、6頁、11頁、13頁、14頁、81頁及び84頁に記載している「生物生産学科」、「生物資源化学科」及び「生物環境学科」を、次のとおり修正します。

修正前	修正後
生物生産学科	→ 農業生産科学科
生物資源化学科	→ 食料生命科学科
生物環境学科	→ 農林環境科学科

<修正前>

学 部	学科・課程等	入学 定員	募 集 人 員						
			一 般 入 試 (実施方式・日程)		アドミッ ション・ オフィス 入 試	特 別 入 試			
			分離分割方式			推薦 入試 I	推薦 入試 II	社会人 入 試	私費外国 人学 部留 学 生入試
前期 日程	後期 日程								

農学部	国際食料資源学特別コース (農学系サブコース)	12	12						若干人
	生物生産学科	<u>74</u>	<u>60</u>	<u>5</u>		<u>9</u>			
	生物資源化学科	<u>58</u>	<u>49</u>	6		3			
	生物環境学科	<u>61</u>	<u>49</u>	6		<u>6</u>			
	計	205	<u>170</u>	<u>17</u>		<u>18</u>			

合 計		1,950	<u>1,336</u>	<u>322</u>	23	<u>69</u>	200		
-----	--	-------	--------------	------------	----	-----------	-----	--	--

<修正後>

学 部	学科・課程等	入学 定員	募 集 人 員						
			一 般 入 試 (実施方式・日程)		アドミッ ション・ オフィス 入 試	特 別 入 試			
			分離分割方式			推薦 入試 I	推薦 入試 II	社会人 入 試	私費外国 人学 部留 学 生入試
前期 日程	後期 日程								

農学部	国際食料資源学特別コース (農学系サブコース)	12	12						若干人
	農業生産科学科	<u>71</u>	<u>57</u>	<u>6</u>		<u>8</u>			
	食料生命科学科	<u>66</u>	<u>57</u>	6		3			
	農林環境科学科	<u>56</u>	<u>46</u>	6		<u>4</u>			
	計	205	<u>172</u>	<u>18</u>		<u>15</u>			

合 計		1,950	<u>1,338</u>	<u>323</u>	23	<u>66</u>	200		
-----	--	-------	--------------	------------	----	-----------	-----	--	--

<修正前>

学部・学科等名	推 薦 入 試									帰国子女・ 社会人等の ための特別 入試			
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									推薦 入試 募集 人員	帰国 子女 入試	中国 引揚 者等 子女 入試	社会 人入 試
	推薦入試 Ⅰ 個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	推薦入試 Ⅱ 個別学力 検査を免 除し,大学 入試セン ター試験 を課す	実 技 検 査 等										
実技 検査 を課 す	面接を 行う	小論文 を課す	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す	その他									

農 学 部	生物生産学科	○	×	×	○	○	×	×	9人	×	×	×
	生物資源化学科	○	×	×	○	○	×	×	3人	×	×	×
	生物環境学科	○	×	×	○	○	×	×	6人	×	×	×

<修正後>

学部・学科等名	推 薦 入 試									帰国子女・ 社会人等の ための特別 入試			
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する									推薦 入試 募集 人員	帰国 子女 入試	中国 引揚 者等 子女 入試	社会 人入 試
	推薦入試 Ⅰ 個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	推薦入試 Ⅱ 個別学力 検査を免 除し,大学 入試セン ター試験 を課す	実 技 検 査 等										
実技 検査 を課 す	面接を 行う	小論文 を課す	外国語 におけ るリス ニング テスト を課す	その他									

農 学 部	農業生産科学科	○	×	×	○	○	×	×	8人	×	×	×
	食料生命科学科	○	×	×	○	○	×	×	3人	×	×	×
	農林環境科学科	○	×	×	○	○	×	×	4人	×	×	×

<修正前>

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
農学部 (2.7) 205人 前期 170 後期 17 その他 18	生物生産 学科 74人 前期 60 後期 5 その他 9	前期 2月25日	国	国	数 理 外 数Ⅱ・数A・数B 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学 } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ	
	生物資源 化学科 58人 前期 49 後期 6 その他 3	後期 3月12日	理	①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 } から2又は3		
	生物環境 学科 61人 前期 49 後期 6 その他 6		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔理科については, ①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。ただし, 同一名称を付した科目(「物基」と「物」, 「化基」と「化」, 「生基」と「生」, 「地学基」と「地学」)の選択解答は認めない。〕 〔5教科7か8科目〕		その他 小論文
国際食料資源学特別コース	農学系サブコース 12人 前期 12	前期 2月25日	国	国	数 理 外 数Ⅱ・数A・数B 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学 } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ	
		理	①物基, 化基, 生基, 地学基から2 ②物, 化, 生, 地学から1又は2 } から2又は3			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔理科については, ①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。ただし, 同一名称を付した科目(「物基」と「物」, 「化基」と「化」, 「生基」と「生」, 「地学基」と「地学」)の選択解答は認めない。〕 〔5教科7か8科目〕			

<修正後>

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成27年度〕 志願倍率		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
農学部 (2.7) 205人 前期 172 後期 18 その他 15	農業生産 科学科	前期 2月25日	国	国	数 理 外 数Ⅱ・数A・数B 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学 } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ	
	食料生命 科学科	後期 3月12日	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1		
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1		
農林環境 科学科	前期 2月25日	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	その他 小論文		
国際食料資源学特別 コース	前期 2月25日	理	①物基, 化基, 生基, 地学基から2 } から2又は3 ②物, 化, 生, 地学から1又は2			
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔理科については, ①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。ただし, 同一名称を付した科目(「物基」と「物」, 「化基」と「化」, 「生基」と「生」, 「地学基」と「地学」)の選択解答は認めない。〕 〔5教科7か8科目〕			
国際食料資源学特別 コース	前期 2月25日	国	国	数 理 外 数Ⅱ・数A・数B 物基・物, 化基・化, 生基・生, 地学基・地学 } から1 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰ		
農業系 サブコース	前期 2月25日	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1			
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1			
農業系 サブコース	前期 2月25日	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1	その他 小論文		
		理	①物基, 化基, 生基, 地学基から2 } から2又は3 ②物, 化, 生, 地学から1又は2			
農業系 サブコース	前期 2月25日	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔理科については, ①から2科目と②から1科目, 又は, ②から2科目選択解答すること。ただし, 同一名称を付した科目(「物基」と「物」, 「化基」と「化」, 「生基」と「生」, 「地学基」と「地学」)の選択解答は認めない。〕 〔5教科7か8科目〕	その他 小論文		

<修正前>

特別入試（推薦入試 I）

実施学部・学科名	農学部 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <u>生物生産学科</u> <u>生物資源化学科</u> <u>生物環境学科</u> </div>
募集人員	<u>生物生産学科</u> 9人 <u>生物資源化学科</u> 3人 <u>生物環境学科</u> 6人



そ の 他	<p>※推薦人員 各学科に対して、各校とも各科から2人以内</p> <p>※対象となる高等学校の学科 <u>生物生産学科</u>：農業科，農業経営科，畜産科，園芸科，生物工学科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 <u>生物資源化学科</u>：生物工学科，<u>食品科学科</u>，農業科，畜産科，園芸科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 <u>生物環境学科</u>：農業科，農業経営科，林業科，森林関連学科，農業土木科，農業機械科，生物工学科，<u>食品関連学科</u>，電気科，機械科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 （注）総合学科については，<u>生物生産学科</u>及び<u>生物資源化学科</u>では，農業に関する科目を25単位以上履修した（見込みを含む。）者，<u>生物環境学科</u>では，農業，林業，工業など<u>生物環境学科</u>に関する科目を25単位以上履修した（見込みを含む。）者に限る。</p> <p>※小論文 <u>生物生産学科</u>及び<u>生物環境学科</u> 専門を学ぶ上で必要な常識的事項，あるいは専門分野におけるトピックス的なものを課す。 <u>生物資源化学科</u> 生物資源化学に関する分野への関心の深さ及び話題や問題点を論理的に考察し表現できるかを問う。</p> <p>※面接(各学科共通) 志望理由書を参考にして行い，関心度，学習意欲，基礎知識等を評価する。</p>
-------	---

<修正後>

特別入試（推薦入試Ⅰ）

実施学部・学科名	農学部 { <u>農業生産科学科</u> <u>食料生命科学科</u> <u>農林環境科学科</u> }
募集人員	<u>農業生産科学科</u> 8人 <u>食料生命科学科</u> 3人 <u>農林環境科学科</u> 4人



そ の 他	<p>※推薦人員 各学科に対して、各校とも各科から2人以内</p> <p>※対象となる高等学校の学科 <u>農業生産科学科</u>：農業科，農業経営科，畜産科，園芸科，生物工学科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 <u>食料生命科学科</u>：生物工学科，<u>食品関連学科</u>，農業科，畜産科，園芸科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科 <u>農林環境科学科</u>：農業科，農業経営科，林業科，森林関連学科，農業土木科，農業機械科，生物工学科，電気科，機械科あるいはこれらに準ずる学科，もしくは総合学科</p> <p>（注）総合学科については，<u>農業生産科学科</u>及び<u>食料生命科学科</u>では，農業に関する科目を25単位以上履修した（見込みを含む。）者，<u>農林環境科学科</u>では，農業，林業，工業など<u>農林環境科学科</u>に関する科目を25単位以上履修した（見込みを含む。）者に限る。</p> <p>※小論文 <u>農業生産科学科</u>及び<u>農林環境科学科</u> 専門を学ぶ上で必要な常識的事項，あるいは専門分野におけるトピックス的なものを課す。 <u>食料生命科学科</u> 食料生命科学に関する分野への関心の深さ及び話題や問題点を論理的に考察し表現できるかを問う。</p> <p>※面接(各学科共通) 志望理由書を参考にして行い，関心度，学習意欲，基礎知識等を評価する。</p>
-------	---